

教員各位

2020年度前期成績評価に係るガイドラインについて

2020.7.16

教学担当理事 村松 俊夫

本学では5月初旬以来、新型コロナウイルス感染防止の観点から、講義科目については、原則オンラインによる遠隔授業を実施しております。9月の第1週で前期授業が終了するにあたり、成績評価を行う際には、下記のガイドラインを参考に実施していただけますようお願い申し上げます。

1. 本学では、試験週間は設定しておりません。通常であれば、半期15週(15回)授業を実施したうえで、その中での成績評価を行っております。
2. 今年は、特例として新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合に活用できる補講期間(8月18日~21日、9月7日~19日)を設けました。通常では、補講期間もなく、各授業の担当教員と受講生の空き時間を利用した自主的な補講をお願いしております。
3. 成績評価については、今回の特殊な事情を鑑み、シラバスに記載した到達目標全てを問うものではなく、各授業の状況に合わせて柔軟に対応することとします。ただし、到達目標を含むシラバス記載内容からの変更が生じる場合には、授業担当教員から学生に対して丁寧に説明をしていただくことで対応してください(CNS 掲示:「[シラバス記載内容の弾力的対応について](#)」参照)。
4. 成績評価の判定については、学期の中間や学期末における通常の筆記試験を用いた<考查的・総合的な評価>に固執することなく、たとえば授業での「発問に対する回答」や「受講態度・意欲」などの取り組む姿勢、毎回の授業時における「小レポート」や「リアクションペーパー」、「成果物」の提出等を用いた複数回にわたる理解度調査など、<形成的・多面的な評価>を試みてください。
5. 通常の筆記試験を「オンライン」で実施する場合、たとえば以下のような工夫が考えられます。
 - ① 学生には、事前に解答用紙の書式ファイルを CNS 等で配布し、紙に印刷しておくように指示する(※ 市販のレポート用紙等でも可)
 - ② 試験問題は、開始時刻に合わせて教員がオンラインで学生に提示する
 - ③ 学生が端末(ペーパー)上で解答する。教員は、学生の様子を Zoom 等で確認する
 - ④ 試験終了と同時に端末からオンラインで(ペーパーを PDF 化して)提出させる
(PDF 作成アプリ例: Microsoft Office Lens([Android 版](#)、[iPhone 版](#)))
 - ⑤ チャット機能を使用し、質問や体調不良に備える
 - ⑥ 学生同士の相談を避けるために問題を複数用意して、学籍番号末尾一桁の数字に応じて選択させる
6. どうしても講義室内での対面の試験(いわゆるペーパーテスト)を実施しなければならない場合、2020年度前期における授業実施方針(4月13日付け周知)の【感染防止の考え方】に基づき、
 - ① 「3つの密」環境で行わない(臨時定員[収容定員のおよそ1/4]を守る、適宜換気を行う)
 - ② 徹底した感染防止策を講ずる(検温、マスク着用、手洗い、手指消毒等)を厳守してください。